

## 【北海道税理士会小樽支部支部長賞】

### 私達を支える税

小樽市立菁園中学校 一年

佐川 紗麗

皆さんは「税金」と聞いて何を思い浮かべるだろうか。消費税も十%になり千円買うと千百円、一万円では一万千円の支払額になり、負担を重いと感じる人も多いだろう。「納めなければならぬもの。」とあまり良いイメージを持っていないかもしれない。それはなぜだろうか。私達の多くは税金に対する嫌悪感を抱くだけで、実際の必要性や何に使われているのか、使い方を把握できていないのではないだろうか。

税金は私達の毎日の生活に欠かせないものだ。私達の一日は朝起きでの洗面やトイレの上下水道、学校へ行く道路や信号機、学校では、教科書や机、椅子、何から何まで税金で支えられている。そして病気になるとお世話になる病院や入院の医療費もかかった費用の一部を税金が負担してくれている。また普段利用している、図書館、博物館、総合体育館などの公共施設も税金に支えられ私達は当然のように利用している。

さらに、老後を安心して暮らしていくために国からお金を受け取れる年金や介護サービスを利用した時にかかる金額の一部にも税金が使われている。将来老後を不安なく安心して生活していくためにも欠く

ことができない大切なものだ。しかし現在日本は少子高齢化が進み、働くことができる世代がすっかり税金を支払い、この役割を理解し責任を持って支えていかなければならない。社会は一人で維持することも生きていくことも難しく、互いに支え合う中で成立するのではないだろうか。私達は常にこのことを大人も子どもも意識し、生活していく必要があると思う。税金は全員の日常生活をより良くするためのもの、また困っている人をしっかりと支えていくための二つの役割があると思う。税金をきちんと納め、次の世代の教育を支え、教育によって私達は学び、税について理解を深め、支え合う社会を創り上げていくことが大切であると思う。

現在国に入るお金の六割が税金である。ここから、内閣は予算を作成し、国会で国の代表者が話し合い使い方を決定している。医療、年金、介護、福祉などの社会保障にかかる費用は税金からまかなわれている。このように私達が安心、安全に毎日生活をしていく中で様々な所に税金が使われ、税金のお陰で豊かで安全な毎日を過ごすことができている。今、私達は前代未聞のウイルスとの戦いに直面している。学校も休校になり、職を失った人もたくさんいる。今こそ互いに協力し合い、これからも日本が平和で安心、安全な国であるよう、私達は税について学び、将来しっかりと納税し日本を支える一員にならなければならないと思う。